

令和3年(ホ)第83号 放送法順守義務確認等請求控訴事件
控訴人 宮内正蔵外109名
被控訴人 日本放送協会

証拠説明書 (45)

2021年11月15日

大阪高等裁判所 第6民事部 B1係 御中

控訴人ら 訴訟代理人
弁護士 佐藤真理

号証	標目	原本 写し	作成 年月日	作成者	立証趣旨
甲517	ジャーナリズムと法 (抜粋)	写し	1997/6/25	奥平康弘	西土論文(甲515)の120頁脚注1と125頁脚注36で引用の文献の内容
甲518	知る権利 —現代の新聞自由— (抜粋)	写し	1972/6/15	千葉雄次郎	西土論文の120頁脚注2で引用の文献の内容
甲519	知る権利 (抜粋)	写し	1979/3/28	奥平康弘	西土論文の121頁脚注3、124頁脚注30で引用の文献の内容
甲520	表現の自由Ⅱ —現代における展開— (抜粋)	写し	1984/1/25	奥平康弘	西土論文の121頁脚注4で引用の文献の内容
甲521	NHK総合テレビ『クローズアップ現代』“出家詐欺、報道に関する意見	写し	2015/11/6	BPOの放送倫理検証委員会	西土論文の121頁脚注6で引用の放送倫理検証委員会決定第23号の内容
甲522	放送制度 —その現状と展望—2 (抜粋)	写し	1977/12/20	伊藤正己	西土論文の121頁脚注7で引用の文献の芦部信喜発言の内容
甲523	電波監理委員会の意義・教訓	写し	2011/1/31	原田祐樹	西土論文の121頁脚注8で引用の論文の内容

甲524	電波三法 成立直前に盛り込まれた規制強化～番組準則、電波法76条の修正過程の検証～	写し	2020/7/1	村上聖一	西土論文の122頁脚注11で引用の論文の内容
甲525	放送制度—その現状と展望—1 (抜粋)	写し	1976/11/10	伊藤征己	西土論文の122頁脚注12で引用の文献の塩野宏発言の内容
甲526	テレビの憲法理論 多メディア・多チャンネル時代の放送法制	写し	1992/12/25	長谷部恭男	西土論文の122頁脚注13で引用の文献の内容
甲527	放送法4条遵守義務確認訴訟・奈良地裁2020年11月12日判決 (Web日本評論)	写し	2021/3/4	稲葉一将	西土論文の123頁脚注20で引用の論文の内容
甲528	公正中立がメディアを殺す (抜粋)	写し	2016/4/20	メディア総合研究所・放送レポート編集委員会	西土論文の123頁脚注21で引用の文献の内容
甲529	言論法研究 (抜粋)	写し	1979/9/20	清水英夫	西土論文の123頁脚注22で引用の文献の内容
甲530 の1	最高裁判所 平成8・3・19判決 (最高裁判所判例集)	写し	1996/3/19	最高裁判所	西土論文の124頁脚注27で引用の最高裁判決「南九州税理士会政治献金事件」の内容
甲530 の2	最高裁判所 昭和50・11・28判決 (最高裁判所判例集)	写し	1975/11/28	最高裁判所	西土論文の124頁脚注27で引用の最高裁判決「国労広島地本事件」の内容
甲531	言論の自由と情報法制—放送制度のゆくえ—(憲法問題30の抜粋)	写し	2019/5/3	西土彰一郎	西土論文の124頁脚注29で引用の論文の内容
甲532	「『知る権利』」の法的構造 (法律時報44巻7号の抜粋)	写し	1972・6	清水英夫 堀部政男 奥平康弘 佐藤幸治	西土論文の124頁脚注30で引用の論文の内容
甲533	新聞記者を考える (抜粋)	写し	1994//9/29	新聞労連	西土論文の124頁脚注31で引用の文献の内容

甲534	憲法の想像力 (抜粋)	写し	2003/4/21	奥平康弘	西土論文の124頁脚注32で引用の文献の内容
甲535	憲法学教室第3版 (抜粋)	写し	2000/11/10	浦部法穂	西土論文の124頁脚注33で引用の文献の内容
甲536	憲法学再入門 (抜粋)	写し	2014/3/30	木村草太 西村裕一	西土論文の124頁脚注34で引用の文献の内容
甲537	「人権論の名のもとに」 (法律時報69巻6号の 抜粋)	写し	1997・5	蟻川恒正	西土論文の125頁脚注35で引用の論文の内容
甲538	ジャーナリズムなき国の、 ジャーナリズム論 (抜粋)	写し	2020/1/20	大石泰彦	西土論文の125頁脚注37で引用の文献の内容
甲539	いかそう日本国憲法 -第九条を中心に- (抜粋)	写し	1994/4/20	奥平康弘	西土論文の125頁脚注38で引用の文献の内容